様式10

**最短修業年限超過者等に係る事由書**

（別途、〔様式１０－２〕教員所見も添付すること）

授業料免除等申請

〔様式１０－１①〕

注１．前期は４月１日、後期は１０月１日現在の状況で記入すること。

注２．特に慎重な審査を要する場合は、追加資料等を求めることがあります。　　　　　　　　　　年 　　月 　　日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学部・研究科名 | 課　程 | 学科・専攻名 | 学年 | 入(進)学年 | 学生番号 |  |
| 学　部研究科学　舎教育部 | 学部修士博士専門職 |  |  | 西暦 　　　 年 　　　 月 |
| 氏名 |  |
| **１．病気の場合　※診断書などで証明できるものに限ります。** |
| **※医師の診断書等（病気期間の記載があるもの）の提出が必須。****様式10-1①にホッチキスで添付してください。**〈病　　名〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〈期　　間〉　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日〈休学期間〉　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日〈病状について〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| **２．留学の場合** |
| 〈留学先(国 名)〉 　　　　　　　 　　 　　　 〈大学名(機関名)〉　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〈留学期間〉　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日〈休学期間〉　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日〈留学種別〉 (該当する番号を○で囲んでください）① 国 費(日本政府奨学金　※日本学生支援機構含む)　　② 大学の交換プログラム等　　③ 私 費④ 公共団体等からの助成 (団体名) 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| **３．大学院の博士学位論文作成の場合　※　修業年限超過の期間が１年を超える場合は免除の対象としません。** |
| 《研究題目》　　 |
| (進捗状況の概略) |
|  |
|  |
|  |
|  |

様式10

**最短修業年限超過者等に係る事由書**

（別途、〔様式１０－２〕教員所見も添付すること）

授業料免除等申請

〔様式１０－１②〕

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学部・研究科名 | 課　程 | 学科・専攻名 | 学年 | 入(進)学年 | 学生番号 |  |
| 学　部研究科学　舎教育部 | 学部修士博士専門職 |  |  | 西暦 　　　 年 　　　 月 |
| 氏名 |  |
| **４．その他の場合　（４－１～４－４まで記入必須）** |
| **４－１.　以下、該当する箇所にチェックしてください。****□（１）出産・育児・介護** **□（２）国等の要請に応えて休学し、公益事業（青年海外協力隊、兵役等）に参加 ※1）**※1）インターンシップの場合は、①機関②期間③研究との関連④業務内容等も含めて必ず記入してください。**□（３）学資獲得のためのアルバイト苦による場合（留学生を除く） ※2）**※2）アルバイト（留学生は除く）の場合は、①経済的必要性②アルバイト状況（いつから週○時間勤務等）も含めて必ず記入してください。該当期間分の根拠書類（源泉徴収票や課税証明書、TA/RA/OAは総労働時間数がわかる書類）を様式10-1②にホッチキスで添付してください。**□（４）申請者本人が障害者であるため学業・研究において修業年限以上の期間を要すると認められる場合****□（５）新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと認められる場合 ※3）**※3）（免除の対象とならない事例）・就職活動を満足に行うことができなかったことに伴う就職待機　等（免除の対象となりうる事例）・研究に必要な海外でのフィールドワークを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により渡航することができなかった 　　　　・入国制限により日本に入国することができなかったため、休学した　等**４－2.　理由の詳細を記入してください。**★**特に※1～3）に該当する方は、具体的に記入してください。****期間や経緯、程度など記載内容が不十分であれば、こちらから問い合わせることがあります。**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

**４－３. 期間を記入してください。**　　〈休学期間〉　　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日〈該当期間〉①　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日②　西暦　　　　年　　月　　日　～　西暦　　　　年　　月　　日**４－４.　時系列・理由を記入してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 在籍年数 | 時系列(例：兵役・育児等)※それ以外は在学と記入 | 最短超過にかかわる理由 |
| （例）**2020年度** | **1年目** | 前期（4月～）**在　学** | 後期（10月～）**アルバイト** | **父が失業し、仕送りが停止した。10月より学資工面のためアルバイトを週30時間行った。** |
| 年度 | 1年目 |  |  |  |
| 年度 | 2年目 |  |  |  |
| 年度 | 3年目 |  |  |  |
| 年度 | 4年目 |  |  |  |
| 年度 | 5年目 |  |  |  |
| 年度 | 6年目 |  |  |  |
| 年度 | 7年目 |  |  |  |

 |

様式10

授業料免除等申請

〔様式１０－２〕

**最短修業年限超過者等に係る事由書**

指導教員の方へ

・申請者記入の〔様式１０－１〕最短修業年限超過者等に係る事由書を確認の上、以下の１～３をご記入ください。ご記入後、封筒（任意の形式）に入れて糊付けの上、申請者本人に渡してください。

　本人記入欄

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学部・研究科名 | 課　程 | 学科・専攻名 | 学年 | 入(進)学年 | 学生番号 |  |
| 学　部研究科学　舎教育部 | 学部修士博士専門職 |  |  | 西暦 　　　 年　　　　　 　月 | 氏名 |  |
| 研究室内線番号 |  |
| 　教員記入欄　 |
| １．上記申請者の最短修業年限超過事由等に対する指導教員等の所見（原則、日本語でご記入ください。） |
|  |
|  |
|  |
|

|  |  |
| --- | --- |
| ２．今年度卒業・修了の見込み | 有り　　・　　無し |

(以下の３．記入日・教員署名等もご記入ください。また、所見欄では不足する場合は、以下の余白にもご記入ください。) |
| ３．記入日・教員署名等 西暦　　　年　　　月　　　日 　　　　（指導教員）職名・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　○ |